

社会学と都市計画

阿部 真大 (甲南大学)

都市と近代

- 人が都市をつくる／都市が人をつくる
- 都市計画は何を想定してきたか？
- 20世紀 = 「家族」の世紀 (上野千鶴子)
- 近代家族と国民国家、資本主義
- 性別役割分業に特徴づけられる近代家族 (落合恵美子)
- ライフスタイルの近代化 → 都市計画の普遍性 (1920年代の「近隣住区モデル」)

都市とポスト近代①

- 近代の揺らぎとライフスタイルの多様化
- 近代家族が想定しないライフスタイルの人々
- 都市とジェンダー、都市と階層、都市と老い
- キャリア共働き世帯、「おひとりさま」、専業主夫、プレカリアート、孤立する高齢者
- 彼らをいかに都市に包摂していくか？ → 都市計画の新しい課題

都市とポスト近代①

- 多様なニーズをいかにして把握するか？
- 上からの計画ではなく下からの計画
- 「コミュニティデザイン」という考え方 (山崎亮)
- 社会調査と都市計画の連携
- 近代における連携 (貧困調査)、ポスト近代における連携 (ライフスタイル調査)

都市とポスト近代①

- 『居場所の社会学』
- 児童福祉、高齢者福祉（少子高齢化時代の課題）、ジェンダーレスな「居場所」づくり、就労支援（社会的公正の問題）
- 新しい課題を住民参加のスタイルで都市計画に盛り込んでいく
- 排除から包摂へ → 00年代以降のトレンド → 「新しい公共」をめぐる議論

都市とポスト近代②

- すべてを包摂すればよいのか？
- 90年代のポスト近代論 → 包摂すること自体の問題を指摘 → 「計画」との矛盾
- 包摂されない部分をどのようにすくっていくか？ → 都市に計画されない「余白」をどのようにつくっていくのか？ → 「無秩序の擁護」（中筋直哉）
- 社会化における「居場所」の問題との類似性

都市とポスト近代②

- 計画のなかに「無秩序」を、どのように組み込んでいけばいいのか？
- 『「地方ならお金がなくても幸せでしょ」とか言うな！』
- 地方都市の若者文化が生まれる場所
- 一見「無駄」なことの機能を炙り出し、社会の中に位置付ける
- 「スマートシティ」の議論が見落としがちなもの

まとめ

- ポスト近代における都市計画の課題
- ①近代のシステムから漏れ落ちたものをいかに包摂していくか？（近代化の徹底）
- ②近代のシステムの「外部」をいかに組み込んでいくか？（近代化の反省）
- ①>②というベクトルで、無自覚に議論が進んでいるのではないか？（行き過ぎた「反近代主義」へのバックラッシュ？）

参考文献

- 上野千鶴子 1996 「「家族」の世紀」井上俊他編『<家族>の社会学』岩波書店
- 落合恵美子 1989 『近代家族とフェミニズム』勁草書房
- クラレンス・A・ペリー 1929=1975 倉田和四生訳 『近隣住区論：新しいコミュニティ計画のために』鹿島出版会
- 山崎亮 2011 『コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる』学芸出版社
- 中筋直哉 2008 「無秩序の擁護」井上俊他編『都市的世界』世界思想社